

路上再生路盤工 特記仕様書

1. この特記仕様書は下記の工事に適用する。
工 事 名：道整備交付金事業 広域農道りんどうライン舗装修繕工事その1 2
工事箇所：那須町大字高久甲大同地内
2. 本仕様書に規定されない諸規定については、舗装再生便覧の規定による。
3. 路上再生路盤工法は、路上再生セメント、アスファルト乳剤安定処理工とし、路上において路上再生路盤用添加剤と路上再生路盤用骨材と共に混合し、締め固めて安定処理した路盤を新たに構築するものである。
4. 路上再生路盤用添加剤は、高炉セメント B 種系及びセメント混合用アスファルト乳剤を使用するものとする。
5. 安定処理厚 20cm の場合、添加剤の添加量 100 m²当り高炉セメント B 種系=1,071kg、セメント混合用アスファルト乳剤=2,144kg を標準とするが、施工前に路上再生路盤用骨材を採取し、配合設計を実施して、アスファルト乳剤の添加量及び CAE 一軸圧縮試験の基準を満足するセメント量を決定し監督員の承認を得るものとする。
6. 配合設計の段階で溶出試験を実施すること。(環境庁告示 46 号溶出試験)
7. 上記溶出試験について、土壤環境基準 (0.05mg/l) を超えなかった場合は、施工後に実施する溶出試験を必要としない。
8. 火山灰質粘性土を改良する場合には、上記 6 及び 7 の通りではない。
9. 路上再生路盤工法の添加剤使用率は高炉セメント B 種系 2.5%、アスファルト乳剤 5%とし、配合設計により決定した添加率との差異が 0.5%未満の場合は、設計変更の対象としないものとする。
10. 算出式及び基準は下記の通りとする。

路上再生路盤工 設計路盤厚 t=0.20m

◆添加セメント量算出式 (100 m²当り)

$$\begin{aligned} \text{面積} \times \text{設計厚} \times \text{設計密度} \times \text{設計セメント量} \times \text{ロス率} &= 100 \text{ m}^2 \text{当り使用量} \\ 100 \text{ m}^2 \times 0.20\text{m} \times 2.1\text{t/m}^3 \times 2.5\% \times 1.02 &= 1.07100 \text{ t} \\ &\text{1kg 当換算} &= \text{高炉セメント B 種系数数} \\ 1.07100 \times 1,000 &= 1,071 \text{ kg/m}^2 \end{aligned}$$

◆混合用乳剤量算出式 (100 m²当り)

$$\begin{aligned} \text{面積} \times \text{設計厚} \times \text{設計密度} \times \text{設計乳剤量} \times \text{ロス率} &= 100 \text{ m}^2 \text{当り使用量} \\ 100 \text{ m}^2 \times 0.20\text{m} \times 2.1\text{t/m}^3 \times 5.0\% \times 1.03 / 1.009 &= 2.14370 \text{ t} \\ &\text{1L 当換算} &= \text{乳剤添加剤数量} \\ 2.14370 \times 1,000 &= 2,144 \text{ L(kg)/m}^2 \end{aligned}$$